

ID	受理日	著者名	報告者名	一般名	生物由来成分	原材料名	原産国	含有区分	文部省例	遺伝子型	遺伝子型	遺伝子型	遺伝子型	遺伝子型	遺伝子型	出典	摘要
										C型肝炎	FDA/CBER 2007年 8月 Guidance for Industry	HCV Lookback規則における要求に一致しているFDAの業界向けガイダンスである。血漿および白血球を含む、全血および血漿成分を対象としている。HCV感染を示すドナー検査結果に基づいた、製品の隔離、販売受託者への通知、追加検査、製品の処分、およびレジピエントへの通知等について記載されている。					
										PrMED-mail2007/0901.2879	2007年8月30日、CDC台湾は、国立Chengkung大学病院によって報告された患者がCJDか狂牛病かを決定するために更なる検査が必要であると発表した。この患者者は海外渡航歴はない、動物の内臓を食べることを好みたが、青年ウンの胎盤注射を受けている。台湾では胎盤の化粧品は許可されているが、注射は許可されていない。CDC台湾によると、今までに胎盤注射により狂牛病に感染した症例はないとのことである。						
										農林水産省プレス リース 平成19年 12月14日 第5回ブ リオン病小委員会	日本において平成19年2月までに確認された32例のBSE発生事例について、感染源および疫学的研究の結果が報告された。1995-1996年生まれの北海道・関東難(13例)について、統計的に共通の飼料工場で製造された代用乳が原因となった可能性が考えられるが、オランダ産の粉末脂を感染原因とする合理的説明は困難であった。2001年10月以後リスク管理措置がとられ、2002年4月以降は全く陽性例は発見されていない。日本はBSEの封じ込みに成功すると見込まれる。						
										Arch Neurol 2007; 64: 1780-1784	運動失調や記憶障害などを呈し、発症後14ヶ月で死亡した患者(39歳女性)の剖検を行ったところ、白質の広汎な変性と皮質および白質におけるPrP沈着を示す非定型孤発性CJDであった。小脳網織由来のPrPScを分子分析した結果、vCJDでみられるPrPSc 4型と似た新規のPrPScであることが示された。EDTA存在下でのプロテアーゼ開裂部が異なった。この患者のPrPNCドン129はホモジンであった。						
										クロイツフェルト・ヤコブ病	第6回 CJD二次感染予防に関する対策検討会 平成19年12月20日	日本で平成11年4月から19年2月16日までにCJD登録されたCJD症例数は897例であった。CJD二次感染リスクが高いハイリスク手術に用いられた手術器具等の再使用に際し、現時点で推奨される処理として、適切な洗浄+3%SDS 3-5分煮沸処理などを示した。またCJD診断以前に行われた脳外科等の手術器具を介したCJD二次感染リスク保有可能性者への対応について、医療機関に対し助言を行うとともに、専門家組織の設置を提言した。					